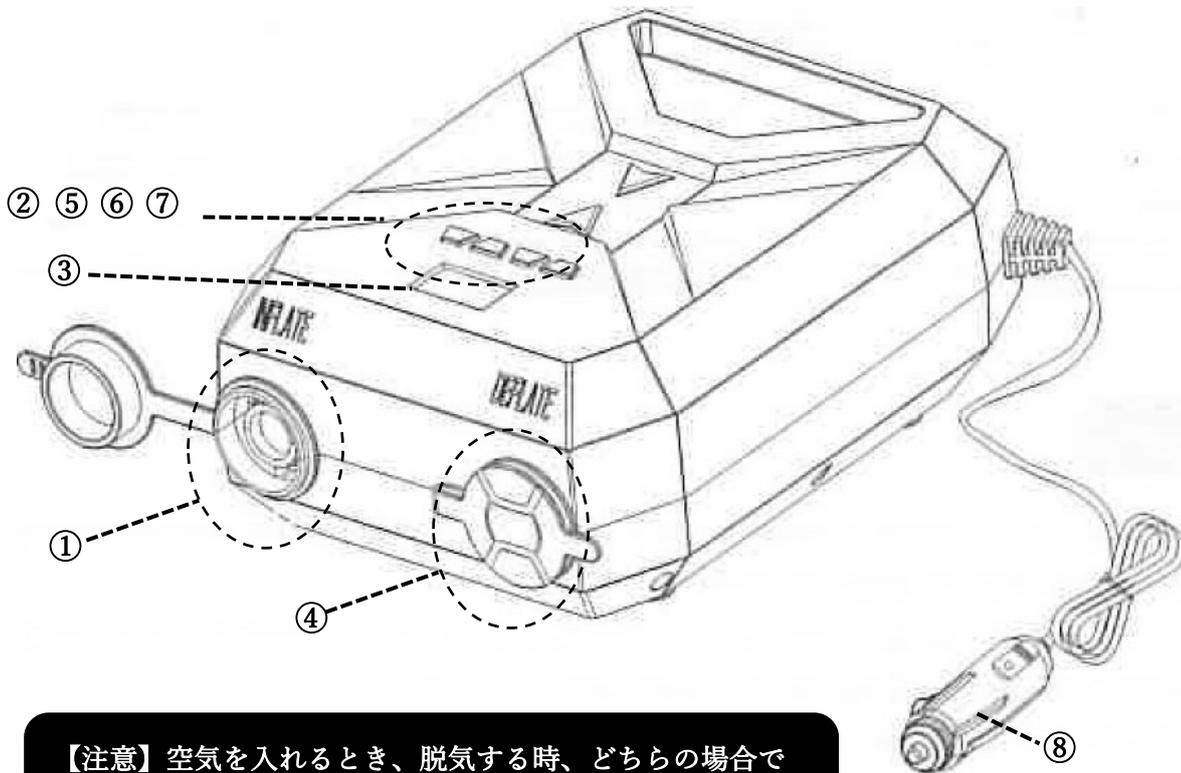




液晶ディスプレイ付き DC12v 電動インフレーターポンプ  
PUPPU 取扱説明書



**【注意】** 空気を入れるとき、脱気する時、どちらの場合でも両方のカバーを開けてご使用ください。

1. Inflation Port

2. Deflation Port

3. LCD display

4. PSI/BAR 切替ボタン

5. 圧力設定ボタン (-)

6. 圧力設定ボタン (+)

7. 動作スイッチ

8. シガーソケットプラグ

PUPPU は、PSI もしくは BAR の単位で空気圧を事前に設定し、(INFLATE) 側にホースを繋ぎ、一定の圧力までブロアーで高速に空気を充填した後、最大 20PSI までの圧縮空気を充填することができます。

SUP 以外にも、テントカヤック等インフレーター製品に空気を充填することができるスマート電動エアポンプであり、圧力が事前に設定された圧力値に達すると、ポンプは自動的に充填を停止します。

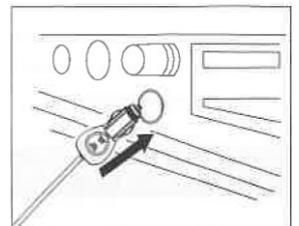
SUP 等のインフレーター製品を収納する際には、(DEFLATE) 側にホースで繋ぎ、脱気することができます。脱気をすることで折り畳むのが各段に便利になります。(※脱気時は自動停止しません。)

## 1.警告

- ・お子様の手の届かないところに保管してください。充填中は、製品とお子様との間に安全な距離を保ってください。
- ・シガーソケットを使用する際には感電の危険がありますので濡れた手で触らないでください。
- ・この製品を保守し、修理したりする場合は、必ずシガーソケットから取り外した状態で行ってください。
- ・電源コードが破損している場合は、危険を避けるために、販売元にご相談ください。
- ・インフレーター製品の最大気圧以上の充填をしないでください。インフレーター製品が破損する場合があります。
- ・使用前にシガレットライターソケットを確認し、内部に錆や残留物がないことを確認してください。
- ・電気伝導率が悪いシガレットライターソケット、製品または電源が過熱し、製品に損傷を与える可能性があります
- ・製品を空気入れ以外の目的で使用しないでください。
- ・ご使用時には、バックアップとして手動ポンプの携行をお勧めします。
- ・エンジンをとめた状態で自動車のシガーソケットで給電するとバッテリーに大きな負荷がかかります。できるだけエンジンを切らずにご使用することをお勧めします。

## 2.重要事項

電源装置は普通乗用車用 12V シガーソケット電源です。トラックなどの大型車などでは 24V が主流ですので普通乗用車以外で使用する場合には十分ご注意ください。INFLATE ポートや DEFLATE ポートをふさがないようにご注意ください。また、使用中は本体下部を塞がないようにご注意ください。



廃棄する場合は、自治体の規則に従ってください。主に本体は樹脂、モーター部は金属が使われています。

ホースが破損した場合は、販売元にご相談ください。

ポンプの動作中にホースを取り外さないで下さい。

ポンプは可能な限り長時間連続作動させず、15分以下での使用としてください。

モーターの過熱は内部損傷を引き起こす可能性があり、15分の連続作動後は十分な冷却時間をおいてください。

異音がするなど、部品が破損していると思われるときは、ポンプを使用しないでください。修理は専門家にお問い合わせください。

この製品には、防水ではありません。

ポンプから吐出する空気を他人に向けることは絶対にお止めください。

必ず操作者が監視した状態でポンプをご使用ください、動作中に目を離さないようにしてください。プラグをシガーソケットから引き抜く際にはコードを引っ張らないでください。

### 3. 空気充填の方法

充填は、動作ボタンを1秒程度押すことで自動的に始まります。通常、高速のブローモードで1PSIまで充填し、それ以上から設定圧力までは高压モードに切り替わります。高压モードを直接開始したい場合は3秒間動作ボタンを押します。

1. ホースの端部をエアノズルに入れ、少し押し込むように時計回りに回して締め、エアバッグのエアチャードバルブを挿入し、時計回りに回して固定します(FIG 1)。

2. ホースの別の端をナットとエアポンプインフレーションポートに接続し、時計回りに締めます(FIG 2)。

3. 準備ができてから12Vシガーソケットに差し込みます。

4. 圧力ユニットスイッチボタン「PSI/BAR」を押して、必要なユニットを選択します。

5. 圧力設定ボタン(+)または圧力設定ボタン(-)を押して、0から20PSIまでの圧力を設定します。(単位: PSI=0.0689BAR=6.89KPA)

6. 上記の手順を完了した後、電源スイッチボタンを押して空気充填を開始します。

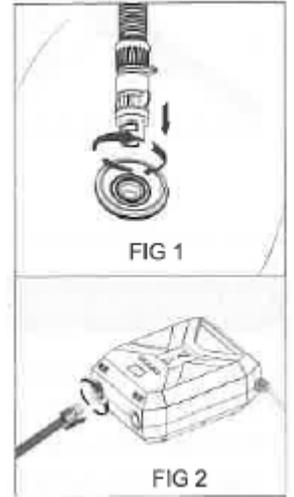
7. 空気充填中でも、圧力設定ボタン(+)または圧力設定ボタン(-)を押すことで自動停止圧力値を増減させることができます。(空気圧の前回設定値はメモリされます。)

圧力単位は、PSI/BAR切替ボタン「PSI/BAR」を押して圧力単位を変更することができ、動作スイッチを押すことによってポンプの動作を停止することができます。

8. 圧力が設定値に達すると、エアポンプは自動的に動作を停止します。

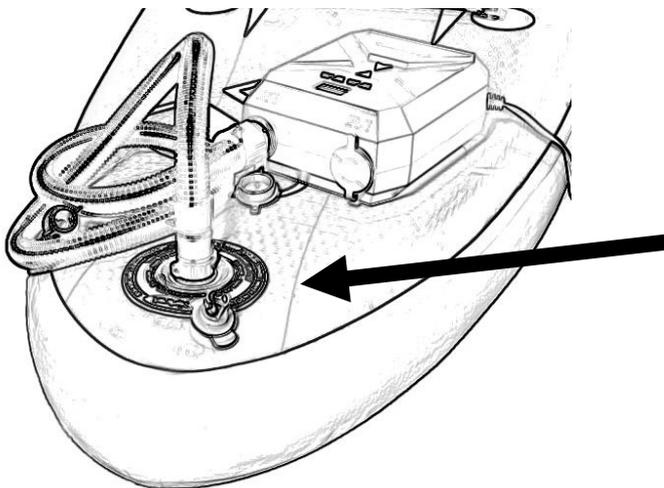
9. 膨脹した後、12Vシガーソケットからプラグを引き抜きます。

10. エアポンプとインフレーター製品からホースを取り外してください。

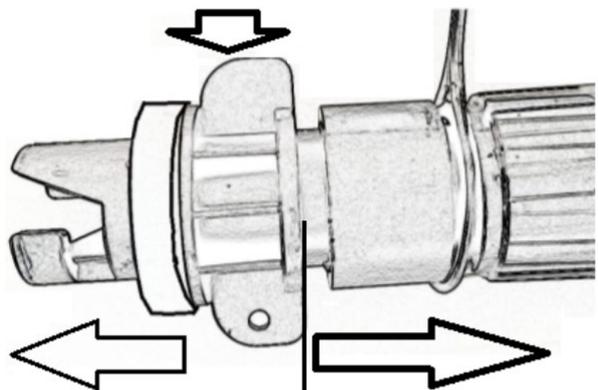


### 4. ホースの取り扱い

ホースをSUPのエアバルブに取り付ける際には、蝶板のついたアダプターをSUP側へ押し込んでください。標準のOリングは強く押し込むことができるように中空構造となっておりますが、それでもきつい場合には、白いシリコンのOリングを交換するなど調節してください。ホースを直接握って回すとホースの取り付け部が破損する恐れがございます。



この蝶板を使って回してください。



バルブ側に  
押し込みながら  
回してください

ここより右側  
ホース部分でアダプタを  
回さないでください

## 5.脱気の方法

1. ホースを INFALETE ポートから取り外し、DEFLATE ポートに接続し時計回りに締めます (FIG3)。
2. すべての空気が排出されるまで、エアーポンプの動作ボタンを押して脱気を開始します。脱気の際は、自動停止しませんのでご注意ください。目視で収縮が止まったらすぐにポンプを停止するようにしてください。脱気を長く続けると故障の原因になります。

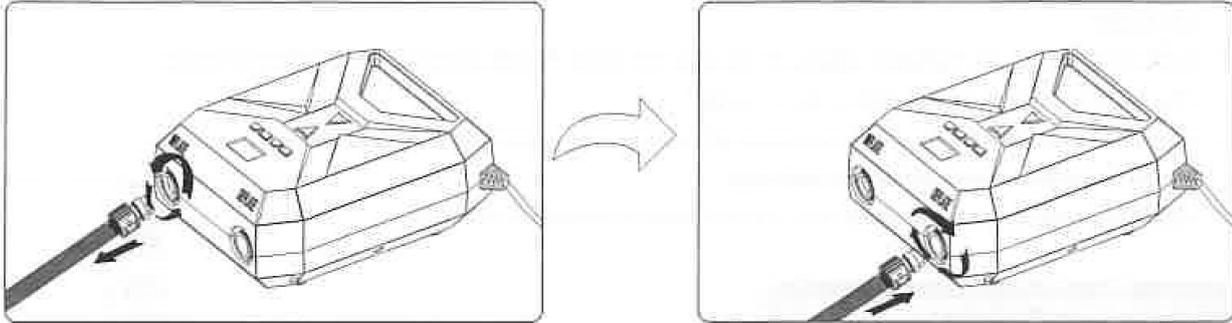
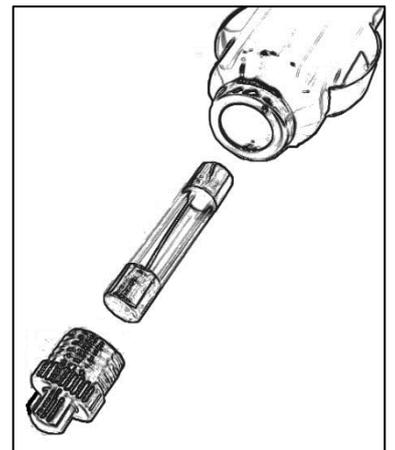


FIG3

## 6.メンテナンスについて

- ・ 使用后、は水気を十分に取り、熱くない状態で箱などにに入れてください。
- ・ 紫外線を長時間浴びる場所に保管すると外装の樹脂が劣化します。
- ・ 乾燥した換気の良い場所に保管してください。
- ・ シガーソケットプラグの中に 12A のヒューズが入っており回路保護のため切れる場合がございます。これはバッテリーと直接繋ぐ場合を想定しており、乗用車で使用して過剰な電流が流れた場合は乗用車側のシガーソケット用ヒューズは殆どの場合 10A であるため、乗用車のヒューズが先に切れます。



## 7.SUGGESTION

パーツの交換・修理などは販売元にご相談ください。

本製品は使用環境や使用時間で大きく寿命が異なるため、初期不良以外の故障は保証の対象となりません。

<販売元>

株式会社メイジエ GLIDER-SPORTS 事業部

東京都世田谷区船橋 1 - 3 - 10

<https://glider-sports.com/>

本説明書の無断転載・無断使用を固く禁じます。

严禁擅自转载和使用本说明。

Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.